



全国性教育連絡協議会

第46回全国性教育研究大会 第26回関東甲信越静性教育研究大会

全国性教育研究団体連絡協議会 理事長 石川 哲也
関東甲信越静性教育研究団体連絡協議会理事長 堀内比佐子
ぐんま思春期研究会 会長 宝田 智恵子

基本テーマ “思春期” に寄り添う

子どもたちは“思春期”を迎えると同時に、選挙権を得る年齢が引き下げられ、IT を通じて幼少時から広く社会とかかわりを持つという時代となり、早くから社会的にも大人になることを求められているようです。

この現状から生まれ育つ子どもたちの悩みや困難に、私たちはどう寄り添い、どう支えればよいのか、時代の変化が速くかつ激しいために過去の経験則では判断し難い問題も多く、大人たち自身にも試行錯誤の日々が続いているのです。

一方、彼らがこの時代に自立すること、とりわけ自分を守り、人と関わることに喜びを見出しながら成長していくことは容易ではないと、周囲の大人たちも心を痛めています。

今大会を通して、正確な基礎知識を必要とされる対応・教育、効果的な支援方法などについて性教育を基盤として学び、問い直す場を提供するとともに、私たちが子どもたちの自立への歩みに添うための、より確かな力を得られるように願っています。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- ◇ 日 時 平成28年8月5日(金)・8月6日(土)
- ◇ 会 場 前橋テルサ
- ◇ 定 員 400名
- ◇ 対 象 教職員(保育園、幼稚園、小・中・高・特別支援学校、専門学校、大学)
医師・看護関係者(医師・保健師・助産師・看護師)、地域医療・保健関係者
社会教育・青少年健全育成関係者、カウンセラー、相談員、福祉関係者
保護者、学生、その他人間の性・性教育に関心のある方
- ◇ 主 催 全国性教育研究団体連絡協議会 関東甲信越静性教育研究団体連絡協議会
ぐんま思春期研究会
- ◇ 協 賛 日本性教育協会
- ◇ 後 援 内閣府/文部科学省/厚生労働省/その他/(申請中、昨年度実績)

第4分科会 特別支援 学級・学校	赤城の間 (50名)	特別支援学校における性教育の実践 ◇発表者 東京都港区港南中学校教諭 櫻井 千恵 ◇発表者 前橋市立特別支援学校養護教諭 荻原 宏美 ◇助言者 東京都立永福学園校長 朝日 滋也 ◇司会者 高崎健康福祉大学保健医療学部准教授 青柳 千春
第5分科会 IT社会	第3研修室 (50名)	IT社会における性教育の実践 ◇発表者 埼玉県立三郷工業技術高等学校3年 楠原 慈瑛 ◇発表者 群馬県こども未来部子育て・青少年課 鈴鹿沙知果 ◇助言者 群馬県教育委員会健康体育課指導主事 未定 ◇司会者 全国性教育研究団体連絡協議会幹事 生形 学 堀内比佐子
第6分科会 相談機関	尾瀬の間 (50名)	相談機関における性教育の実践 ◇発表者 まつしま病院 助産師 幸崎 若菜 ◇発表者 Saveぐんま 相談員 押江 幸子 ◇助言者 長野県性教育研究会会長 渡邊 智子 ◇司会者 北信保健福祉事務所保健師 松本 清美

12:00~13:00 昼食・休憩

* 関東甲信越性教育研究団体連絡協議会常任理事会

13:00~15:50 課題別講義

課題名	会場(定員)	内 容
課題Ⅰ	ホール (70名)	女の子の性をめぐって ~女性アスリートを応援しよう!~ ◇講 師 蓮尾 豊 (あおもり女性ヘルスケア研究所) 無月経からくる疲労骨折、月経困難症、それらの治療とドーピングへの不安。女性アスリートや指導者には大きな悩みです。私たちが基礎的な知識をしっかりと得ることが応援につながります。
課題Ⅱ	けやきの間A (70名)	若者のライフデザインをめぐって ~どう伝える「産む」と「働く」~ ◇講 師 種部 恭子 (女性クリニックWe! TOYAMA) 妊娠・出産適齢期が注目されています。また、多様な生き方も尊重される中で、若者たちは、その選択に手がかりを求めています。何を伝えるのか。いつ・どう伝えるのか。共に考えましょう。
課題Ⅲ	けやきの間B (70名)	男の子の性をめぐって ~思春期男子への性教育再考!~ ◇講 師 今井 伸 (聖隷浜松病院泌尿器科) 射精に嫌悪を抱く男の子も少なくありません。これは思春期の入り口で自己の性を肯定できないことにつながります。背景には、女子に比して性に関わる教育が不足している現状があるようです。ここでは男子への性教育を再考します。
課題Ⅳ	第3研修室 (70名)	思春期のDVをめぐって ~思春期外来：メール相談から見える現状とサポート~ ◇講 師 上村 茂仁 (ウイメンズクリニックかみむら) すべての恋愛はデートDVにつながります。爆発的暴力と支配の後にくる「ハネムーン期」。これがあるから被害者は抜け出せない。デートDVを予防するための教育や支援を学びましょう。
課題Ⅴ	赤城の間 (50名)	施設で暮らす子どもたちをめぐって ~社会的養護としての性の支援を学ぼう!~ ◇講 師 佐々木 玄 (児童養護施設エス・オー・エスこどもの村)
課題Ⅵ	尾瀬の間 (50名)	ピアカウンセリングをめぐって ~思春期ピアカウンセラーからの発信~ ◇講 師 池田 優子 (高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科) ほっとした子どもたちの表情を見てほしい。人と関わるのが楽しくなったという声をきいてほしい。同世代だから、わかるから私たちは続けているのです。ピアの活動を知ってください。そして使ってください。

15:50~16:00 閉会行事 (各会場)

大会申込み要領

- A) 申込み方法 郵便振込先口座記号・口座番号 00130-6-587394
加入者名 ぐんま思春期研究会(グンマシユンケンキュウカイ)
* 郵便局で下記の例にならい「払込取扱書」に必要事項を楷書で漏れなく記入し、参加費を振り込んでください。振込手数料は各自のご負担となります。(窓口130円、ATM80円)
* 通信欄には、①勤務先名(学生は校名)、②職名(学生は学年)、③参加者区分(1日参加の場合は日付記入)④分科会名(第2希望まで)、⑤課題講座名(第2希望まで)、⑥懇親会希望について、必ず明記してください。
* 参加申込が確認されましたら、参加証をお送りいたします。
- B) 問合せ先 * メールアドレス: 46seikyoiukutaiikai@gmail.com (メールのみで受け付け)
- C) 参加費 * 両日参加: 一般 6,000円 学生 2,000円
(参加者区分) * 一日参加: 一般 3,000円 学生 2,000円
- D) 締め切り * 平成28年7月15日(金)
- E) 懇親会 * 大会1日目8月5日(金)16:45より、「前橋テルサ」にて開催いたします。
情報交換の場ともなりますので、多数ご参加ください。
会費5,000円は、大会申し込みと共に振り込みください。当日も若干名、受付可能です。
- F) その他 * 参加申込み後、不参加となる場合は、7月29日(金)までに送付した「参加証」を大会事務局までお送りください。手数料を引き、返金いたします。それ以降の場合はお返しできません。
* 昼食については、弁当の当日販売がありますが、数に限りがあります。昼食会場は用意してあります。他前橋テルサ・周辺の飲食店をご利用ください。
* 宿泊については、会場・駅周辺にホテルがありますので、各自お手配ください。

●交通案内

◎前橋テルサ

前橋市千代田町2-5-1 TEL 027-231-3211

- ・JR前橋駅下車。タクシーまたは、バスにて5分徒歩20分
 - ・最寄りのバス停…渋川方面より国道17号「千代田町二丁目」下車、0分
JR前橋駅より国道50号「本町」下車、3分
JR前橋駅のりば… ①、②、⑥ (群馬バス・関越交通・群馬中央バス・上信電鉄・永井バス等)
 - ・関越自動車道・前橋インターより前橋方面へ15分
- * 駐車場は市営パーク五番街及び市営パーク千代田をご利用いただき、駐車券をお持ち下さい。

